

平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社シイエム・シー

コード番号 2185 URL <http://www.cmc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐々 幸恭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 成田 克己

TEL 052-322-3351

四半期報告書提出予定日 平成24年5月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	7,599	30.6	743	221.3	766	200.3	361	239.9
23年9月期第2四半期	5,817	8.8	231	△52.2	255	△50.0	106	△54.2

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 325百万円 (187.9%) 23年9月期第2四半期 112百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年9月期第2四半期	161.29	—
23年9月期第2四半期	47.45	46.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	11,816	8,368	70.8
23年9月期	10,995	8,178	74.4

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 8,368百万円 23年9月期 8,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年9月期	—	0.00	—	60.00	60.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	15,092	19.2	1,235	80.4	1,266	68.9	649	85.9	289.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期2Q	2,243,600 株	23年9月期	2,243,600 株
24年9月期2Q	278 株	23年9月期	213 株
24年9月期2Q	2,243,364 株	23年9月期2Q	2,243,525 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災発生以来、電力供給の制約や原子力災害の影響など、厳しい状況が続くなかで緩やかに持ち直してまいりました。先行きについても、各種政策効果などを背景に、景気の持ち直し傾向は確かなものとなることが予想されます。ただし、欧州の政府債務危機の問題や原油価格の上昇などを背景とした海外景気の下振れ、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念等、わが国の景気が下押しされるリスクは依然として存在しております。

このような経済環境のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、7,599百万円(前年同期間比1,781百万円増、同30.6%増)、営業利益は743百万円(前年同期間比512百万円増、同221.3%増)、経常利益は766百万円(前年同期間比511百万円増、同200.3%増)、四半期純利益は361百万円(前年同期間比255百万円増、同239.9%増)となりました。

これをセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

(マーケティング事業)

インターナル・マーケティングは、前年同期間において売上の大きかった業務効率化支援システム関連業務での減少があったものの、国内外の自動車分野における商品教育案件での増加、さらには丸星株式会社の自動車業界向け教育案件の純増があり、売上高は949百万円(前年同期間比44百万円増、同5.0%増)となりました。

エクスターナル・マーケティングは、精密機器関連分野における販売促進案件での減少が見られたものの、自動車の商品訴求映像制作案件や試乗会開催案件の増加が見られ、売上高は539百万円(前年同期間比98百万円増、同22.5%増)となりました。

カスタマーサポート・マーケティングは、丸星株式会社の子会社化が寄与したこともあり、自動車向けの使用説明書、修理書などの企画・編集・制作業務の増加が大きく、売上高は4,114百万円(前年同期間比1,217百万円増、同42.0%増)となりました。

トータルプリンティングは、自動車関連分野における使用説明書及び修理書・解説書の印刷の増加があり、売上高は855百万円(前年同期間比141百万円増、同19.8%増)となりました。

その他については、コンビニエンスストア売上に加え、丸星株式会社の業務委託等の売上があり、売上高は223百万円(前年同期間比126百万円増、同130.8%増)となりました。

これらの結果、マーケティング事業の売上高は6,682百万円(前年同期間比1,629百万円増、同32.2%増)、営業利益は821百万円(前年同期間比589百万円増、同253.5%増)となりました。

(システム開発事業)

ソフトウェア受託開発を主力とするシステム開発事業は、主要なお取引先からの受注案件の増加にともない、売上高は916百万円(前年同期間比152百万円増、同19.9%増)となりました。営業利益は10百万円(前年同期間比22百万円減、同68.6%減)となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

①資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より820百万円増加し、11,816百万円(前連結会計年度末比7.5%増)となりました。これは主として、受取手形及び売掛金の増加453百万円、現金及び預金の増加350百万円によるものであります。

②負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末より630百万円増加し、3,447百万円(前連結会計年度末比22.4%増)となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加323百万円、未払法人税等の増加183百万円によるものであります。

③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末より190百万円増加し、8,368百万円(前連結会計年度末比2.3%増)となりました。これは主として、利益剰余金の増加227百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ350百万円増加し、2,512百万円(前連結会計年度末2,162百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは794百万円の収入(前年第2四半期連結累計期間216百万円の収入)となりました。これは主として、売上債権の増加473百万円、法人税等の支払額194百万円の支出があったものの、仕入債務の増加327百万円、税金等調整前四半期純利益760百万円の収入によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは283百万円の支出(前年同期間1,353百万円の支出)となりました。これは主として、無形固定資産の取得による支出178百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは136百万円の支出(前年同期間893百万円の支出)となりました。これは主として、配当金の支払額133百万円の支出によるものであります。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月7日公表の「業績予想との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4)追加情報

(「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,162,443	2,512,971
受取手形及び売掛金	2,619,656	3,073,030
たな卸資産	774,169	715,086
その他	373,646	357,623
貸倒引当金	△3,221	△3,786
流動資産合計	5,926,694	6,654,925
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	550,405	528,128
機械装置及び運搬具(純額)	277,045	245,034
土地	1,827,880	1,830,777
その他(純額)	93,501	148,017
有形固定資産合計	2,748,833	2,751,958
無形固定資産		
のれん	1,145,195	1,053,579
その他	141,215	304,034
無形固定資産合計	1,286,410	1,357,614
投資その他の資産		
その他	1,044,329	1,062,445
貸倒引当金	△10,905	△10,905
投資その他の資産合計	1,033,424	1,051,540
固定資産合計	5,068,668	5,161,112
資産合計	10,995,363	11,816,038
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	883,915	1,207,893
未払法人税等	202,906	386,157
賞与引当金	433,883	422,517
役員賞与引当金	75,300	56,246
その他	365,666	458,686
流動負債合計	1,961,671	2,531,501
固定負債		
退職給付引当金	618,394	665,178
役員退職慰労引当金	228,316	244,383
その他	8,568	6,029
固定負債合計	855,279	915,592
負債合計	2,816,950	3,447,093

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,770	529,770
資本剰余金	443,430	443,430
利益剰余金	7,169,698	7,396,920
自己株式	△377	△488
株主資本合計	8,142,521	8,369,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,466	23,157
為替換算調整勘定	24,424	△23,845
その他の包括利益累計額合計	35,891	△688
純資産合計	8,178,412	8,368,944
負債純資産合計	10,995,363	11,816,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	5,817,124	7,599,006
売上原価	4,324,713	5,264,792
売上総利益	1,492,411	2,334,213
販売費及び一般管理費	1,260,928	1,590,518
営業利益	231,482	743,695
営業外収益		
受取利息	227	515
受取配当金	2,131	492
受取保険金	2,690	3,167
作業くず売却益	8,443	7,735
為替差益	12,625	5,362
その他	3,486	7,950
営業外収益合計	29,605	25,224
営業外費用		
支払利息	5,657	338
保険解約損	7	1,380
その他	62	226
営業外費用合計	5,727	1,946
経常利益	255,361	766,973
特別利益		
固定資産売却益	—	1,311
貸倒引当金戻入額	3,111	—
その他	—	35
特別利益合計	3,111	1,346
特別損失		
固定資産除却損	7,513	—
減損損失	—	7,352
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,330	—
特別損失合計	9,843	7,352
税金等調整前四半期純利益	248,629	760,967
法人税、住民税及び事業税	133,012	375,889
法人税等調整額	9,167	23,252
法人税等合計	142,179	399,141
少数株主損益調整前四半期純利益	106,449	361,825
四半期純利益	106,449	361,825

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	106,449	361,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,536	11,690
為替換算調整勘定	—	△48,270
その他の包括利益合計	6,536	△36,579
四半期包括利益	112,986	325,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,986	325,245
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	248,629	760,967
減価償却費	100,106	101,372
減損損失	—	7,352
のれん償却額	45,807	91,615
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,330	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	44,745	46,784
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,450	565
賞与引当金の増減額(△は減少)	871	△9,937
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,100	△19,054
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	16,025	16,066
受取利息及び受取配当金	△2,359	△1,007
支払利息	5,657	338
為替差損益(△は益)	△2,901	5,625
固定資産売却損益(△は益)	—	△1,311
固定資産除却損	7,513	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,463	△473,920
たな卸資産の増減額(△は増加)	71,959	56,672
仕入債務の増減額(△は減少)	104,878	327,610
その他	△118,793	67,947
小計	462,455	977,687
利息及び配当金の受取額	2,777	415
利息の支払額	△5,499	△2,851
法人税等の還付額	—	14,653
法人税等の支払額	△243,332	△194,948
営業活動によるキャッシュ・フロー	216,400	794,956
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△80,634	△100,521
有形固定資産の売却による収入	—	4,200
無形固定資産の取得による支出	△27,789	△178,805
投資有価証券の取得による支出	△722	△735
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,243,303	—
その他	△818	△7,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,353,269	△283,673

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△758,000	—
自己株式の取得による支出	△117	△110
配当金の支払額	△134,174	△133,831
その他	△1,175	△2,424
財務活動によるキャッシュ・フロー	△893,467	△136,366
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,901	△24,389
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,027,433	350,527
現金及び現金同等物の期首残高	3,750,615	2,162,443
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,723,182	2,512,971

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	マーケティング 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,053,194	763,930	5,817,124	—	5,817,124
セグメント間の内部売上高 または振替高	19,474	22,129	41,603	△41,603	—
計	5,072,669	786,059	5,858,728	△41,603	5,817,124
セグメント利益	232,533	32,109	264,643	△33,160	231,482

(注)1 セグメント利益の調整額△33,160千円には、セグメント間取引消去3,926千円、のれんの償却額△37,086千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「マーケティング事業」セグメントにおいて、丸星株式会社の株式取得時における取得原価が取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして認識しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結会計期間においては1,282,618千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	マーケティング 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,682,839	916,166	7,599,006	—	7,599,006
セグメント間の内部売上高 または振替高	7,385	9,460	16,845	△16,845	—
計	6,690,224	925,627	7,615,851	△16,845	7,599,006
セグメント利益	821,936	10,075	832,012	△88,316	743,695

(注)1 セグメント利益の調整額△88,316千円には、セグメント間取引消去3,298千円、のれんの償却額△91,615千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産の減損損失については、重要性が乏しいため記載を省略しております。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

該当事項はありません。